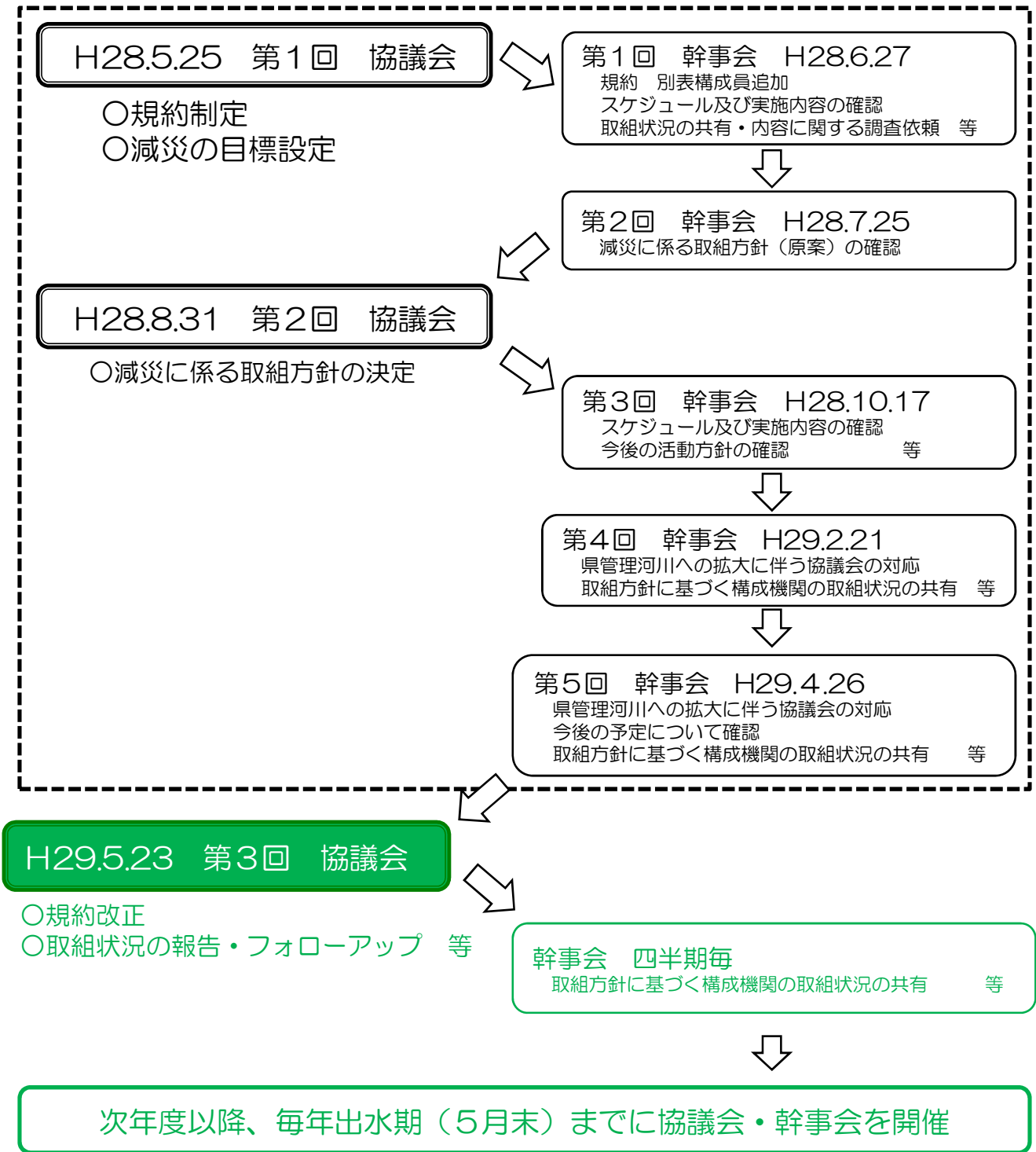


下流

今後の予定(案)



第5回幹事会までの取り組み

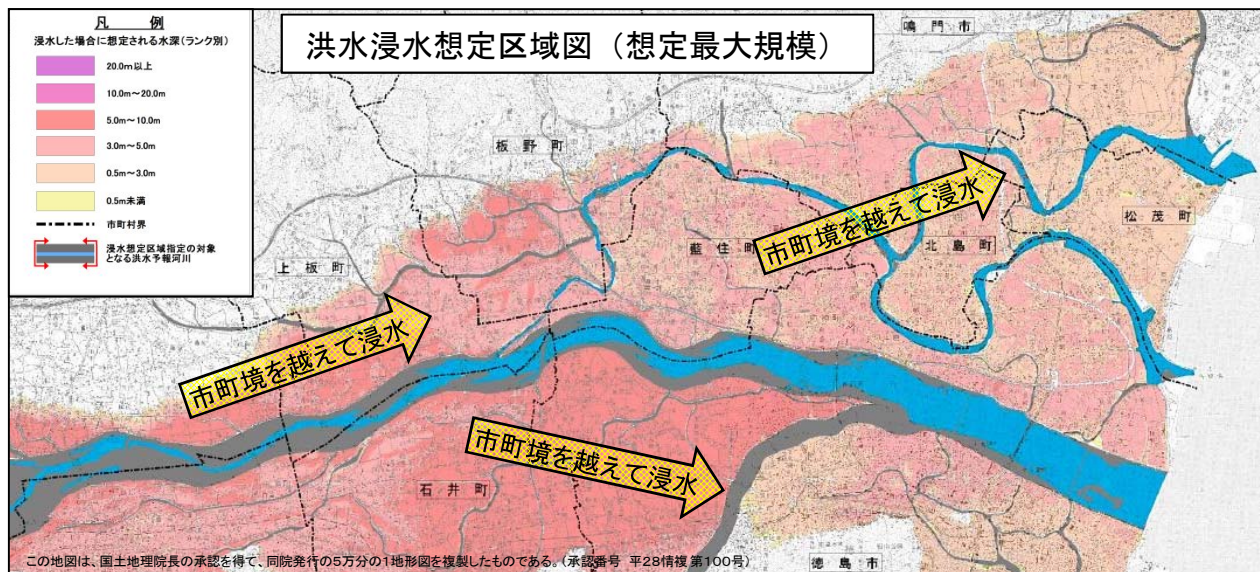
平成29年度 ソフト対策の主な取組

危機意識の高揚に向けた啓発活動、情報発信の強化を実施
(「知る」ための取組)

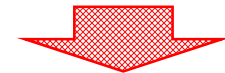
- ①広域的な危機管理演習の実施
- ②洪水リスクに関する住民意識調査の実施・公表

①広域的な危機管理演習の実施

吉野川下流域において堤防が決壊した場合には、市町境を越え広範囲かつ長期に及ぶ浸水が予測されます。このため、市町境を越える氾濫に対して、人的被害の回避、被害の最小化を目指し、社会基盤の早期復旧を実現するため、関係機関参加の下、支川氾濫による水害から計画規模及び想定最大規模への水害の拡大に伴う段階的な住民避難などを組み込んだ実践的な広域演習を実施するとともに、広域避難のあり方についても検討します。



洪水に対してリスクの高い箇所では堤防が決壊した場合に、市町境を越え広範囲の浸水が予測される。



・地区全域が浸水すると予測される箇所においては広域避難の検討が必要である。
 ・被害の最小化を目指し、早期復旧の実現のため関係機関で実践的な演習が必要である。

○実施時期・実施する機関

対象	実施時期	実施する機関													
		徳島市	鳴門市	吉野川市	阿波市	石井町	松茂町	北島町	藍住町	板野町	上板町	徳島県	水資源機構	気象庁	四国地整
右岸	平成29年度	○		○		○						○	○	○	○
左岸	平成30年度	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○



②洪水リスクに関する住民意識調査の実施・公表

(1) アンケート実施の背景

○想定最大規模降雨の洪水に対して、人的被害の回避、被害の最小化、社会基盤の早期復旧を実現するためには、洪水特性・地域特性等に適応したソフト対策の実施が必要不可欠である。

○今後のソフト対策を推進するにあたり、吉野川流域の浸水区域内の住民を対象として、洪水に対する意識調査を実施するものである。

(2) アンケートの実施概要（案）

	内 容
実 施 時 期	平成29年6月頃配布、3週間程度で回収を予定
実 施 対 象	想定最大規模浸水想定区域
調 査 方 法	各自治体から対象地域の自治会を通じて配布予定
配 布 数	約7,000世帯

(3) アンケート調査項目（案）

	内 容
属 性	性別、年齢、お住まいの地域、水害の経験の有無 など
共 通 設 問	◆避難情報に関する理解度 ◆情報伝達方法の充実度 ◆洪水リスクに関する認知度 ◆避難行動の重要性に関する認識度 ◆水防活動の重要度 など
地 域 別 設 問	◆各自治体の防災に関する取組の『認知度』『重要度』『満足度』 など

②洪水リスクに関する住民意識調査の実施・公表

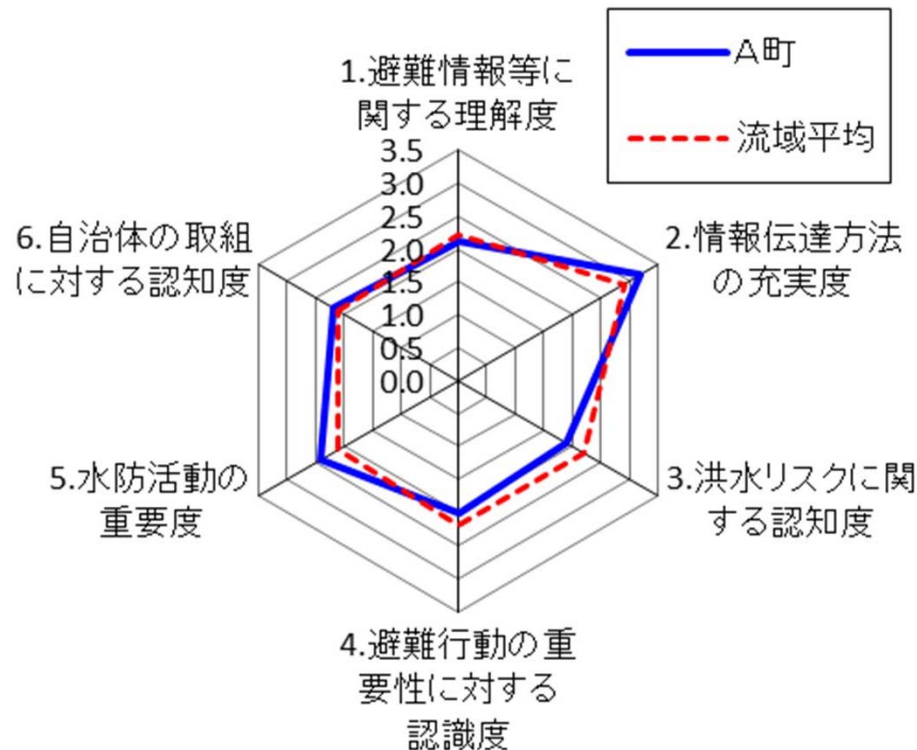
(4) アンケート結果の整理【見える化】及び分析

○アンケートの結果を整理し、下図に示すような【見える化】を行うことで、洪水に対する住民意識の現状や、地域特性等を分析し、今後必要なソフト対策の取組につなげるための参考とする。

1) 各市町単位での結果整理イメージ

・6つの指標により、住民意識の現状や地域特性等について分析する。

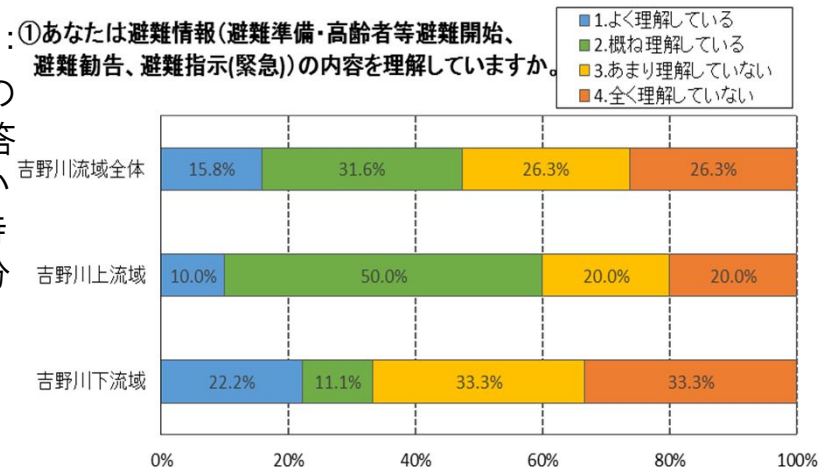
洪水に対する住民意識の現状



2) 流域単位での結果整理イメージ

◆設問例: ①あなたは避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急))の内容を理解していますか。

・各設問の選択回答の比率から流域特性等进行分析する。



3) 各市町の取組に関する結果整理イメージ

・重要度、満足度の視点から、今後進めていく取組の優先度等について分析する。

